

外国語科目の選び方について

入学後の履修外国語は、学籍関連情報登録での選択に基づいて決定します。

外国語の選択については、学部・学科・入試経路によって異なりますので、下記（１）～（３）を確認の上、必ず２ページ以降の「外国語科目の選び方について」を参照し、選択してください。

不明な点は各学部担当に問い合わせてください。

また、外国語の選択にあたっては入学手続 WEB サイトの「諸外国語について」を役立ててください。

（１）一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜等での入学者用 P. 2～8

この項目は以下の（２）（３）以外の方のみが参照してください。

（２）留学生用 P. 9～10

この項目は以下の入試の合格者の方のみが参照してください。

- ・外国人留学生入試（前期日程・後期日程）
- ・指定校推薦（日本語学校・海外高等学校・海外高等学校（済州特別自治道教育庁））入試

（３）SSI 履修者用 P. 11～15

この項目は、スポーツ推薦入試による合格者で、SSI（スポーツ・サイエンス・インスティテュート）の履修を希望する方のみが参照してください。

※外国人留学生入試・指定校推薦（日本語学校・海外高等学校）入試の方は、『【留学生用】外国語科目の選び方について』を参照してください。
 ※スポーツ推薦入試合格者でSSIを希望する方は、『【SSI履修者】外国語科目の選び方について』を参照してください。

(1) 【一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜等での入学者用】外国語科目の選び方について

入学後の履修外国語は、「外国語選択」に基づいて決定します。外国語科目の選び方については、次の説明を参照してください。

各外国語とも受講人数に制限がありますので、特定の外国語に履修希望が集中した場合、必ずしも第一志望に決まらないことがあります。このため「外国語選択」には必ず、各学部の指定する志望順位（第二志望や第三志望）分選択してください。

なお、決定した諸外国語に基づき所属クラスが確定しますので、入学手続後の諸外国語志望の変更は一切できません。

※諸外国語の説明については入学手続 WEB サイトの「諸外国語について」を参照してください。

【法学部】 【文学部】 【経営学部】 【人間環境学部】 【キャリアデザイン学部】

■外国語志望順位選択欄 第二志望まで選択

全員第一外国語として英語に加え、入学後に履修する「諸外国語」を以下の中から選び「外国語選択」の外国語志望順位入力欄に第二志望まで選択してください。

諸外国語	ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語
------	-------------------------------

※〔文学部哲学科〕英語と、ドイツ語またはフランス語の組み合わせで履修することが強く推奨されます。

※〔文学部日本文学科〕漢文学や言語学に関心を持っている人には、中国語の知識が役に立ちます。

※〔文学部英文学科〕諸外国語の選択に指定はありませんが、専門分野のうち英語学や言語学を学ぶ場合には、ドイツ語やフランス語などの西ヨーロッパ系の言語を第二外国語として選ぶと役立つでしょう。

※人間環境学部リフレッシュ・ステージ・プログラム（RSP）は、上記諸外国語に英語を加えた全7言語の中から1言語を履修します。「外国語選択」の外国語志望順位入力欄に第二志望まで選択してください。

※上記「諸外国語」のうち、学生ご自身の母語（第一言語）に該当するものは履修できません。必ず母語以外の言語を選択してください。

法（国際政治学科は除く）・文・営・人環・キャリアデザイン学部の方は以下の外国語履修パターンを確認してください。

■外国語科目履修パターン

外国語科目の必修科目は、下表のとおり1年次と2年次で履修します。

【法（国際政治学科は除く）・文・経営学部】

1年次は共通の形で履修し、2年次から2つのパターンに分かれます。

2年次外国語履修パターンは1年次の秋学期始めに選択しますので、この「外国語選択」では選択不要です。

1年次春学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修	
1年次秋学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修	
	パターンA	パターンB
2年次春学期	英語1科目必修 + 諸外国語1科目必修	諸外国語2科目必修 (英語の必修科目なし)
2年次秋学期	英語1科目必修 + 諸外国語1科目必修	諸外国語2科目必修 (英語の必修科目なし)

■外国語科目履修パターン

【人間環境学部】

パターンの選択はありません。以下のとおり履修します。

2026年度以降の入学生は、2025年度までの入学生とはカリキュラムが異なります。ご注意ください。

	人間環境学部生 (RSP生以外)
1年次春学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修
1年次秋学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修
2年次英語 春学期/秋学期いずれかの学期に 履修	英語1科目必修
2年次諸外国語	諸外国語2科目必修

【人間環境学部・RSP生】

パターンの選択はありません。以下のとおり履修します。

人間環境学部 リフレッシュ・ステージ・プログラム (RSP) 生	
英語	諸外国語
6科目必修	2科目必修
	2科目必修
	1科目必修
	1科目必修

【キャリアデザイン学部】

パターンの選択はありません。以下のとおり履修します。

※2025年度以降の入学生は、2024年度までの入学生とはカリキュラムが異なります。ご注意ください。

	キャリアデザイン学部 2025年度以降入学生
1年次春学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修
1年次秋学期	英語2科目必修 + 諸外国語2科目必修
2年次	英語1科目必修 ※春学期/秋学期 いずれかに1科目必修

【経済学部】 第三志望まで選択

入学後は、全員第一外国語として「英語」を、第二外国語として以下に記載されている外国語の中から一カ国語選択の、計二カ国語を履修することになります。

必ず第三志望まで選択してください。また、学科によって選択できる第二外国語の種類が異なりますので、選択の際は下記をご確認ください。

- ・経済学科：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語（韓国・朝鮮語）
- ・国際経済学科：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語
- ・現代ビジネス学科：ドイツ語、フランス語、中国語

※上記言語のうち、学生ご自身の母語（第一言語）に該当するものは履修できません。必ず母語以外の言語を選択してください。

【理工学部】 志望の選択について

学科によって選択項目が異なります。

◎機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科、経営システム工学科：英語を選択

教養科目の英語科目が必修です。「外国語選択」欄は英語を選択してください。

なお、教養科目群には英語以外にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語が設置されており、希望する外国語を選択外国語として学ぶことが可能です（必修ではありません）。

◎創生科学科：1カ国語のみ選択

教養科目の英語科目が必修であることに加え、他にもう1カ国語を必修外国語として選択する必要があります。希望する諸外国語をドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語の中から一つ選択し、「外国語選択」欄から選択してください。ただし、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語のうち、学生ご自身の第一言語（母語）にあたるものは選択できません。

【生命科学部】 英語を選択

教養科目の英語科目が必修です。「外国語選択」欄から英語を選択してください。

なお、教養科目群には英語以外にドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語が設置されており希望する外国語を自由に選択して学ぶことが可能です（必修ではありません）。

【社会学部】 第三志望まで選択

入学後は、全員が必修である「英語」と、「諸外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語）」の中から1つを必修諸外国語として選択し、あわせて二言語を必修外国語として履修します。必修の諸外国語は、入学時の登録によって決定されます。なお、2年次以降、卒業までに1回に限り、必修登録言語の変更届を出すことにより、変更が可能です。また、必修として選択した外国語のほか、選択科目として、必修外国語以外の外国語の履修も可能です。

「外国語選択」には、必ず、第三志望まで選択してください。志望状況により、第一志望から第三志望で選択したいいずれかの言語に決定します。

英語も必修諸外国語も、それぞれ4単位ずつ、合計8単位を修得することが卒業するための要件になります。

社会学部では以下「2. 「諸外国語」のカリキュラム上の区別について」で述べるようにカリキュラム上の位置づけが言語によって異なります。特に、諸外国語の選択にあたっては、現在の自分の興味・関心だけでなく、4年間の学習体系のこともよく考えて慎重に選んでください。以下、履修における特徴について説明します。

1. 英語の履修について

(1) 必修「英語」の履修について

社会学部では、1年次にBasic English 1（春学期1単位、秋学期1単位）、2年次にBasic English 2（春学期1単位、秋学期1単位）の合計4単位を必修として履修しなければなりません。なお、受講するクラスは、入学前および1年次秋学期に大学で実施する英語外部試験のスコアに応じて決定します。

(2) スタディ・アブロード (SA) について

社会学部では、北米（アメリカ、カナダ）の大学と協定を結んで、SAプログラムを実施しています。留学先で取得した単位は、1セメスターの場合で合計16単位、2セメスターの場合30単位を上限に卒業所要単位として認定されます。

2. 「諸外国語」のカリキュラム上の区別について

- (1) I 群言語（ドイツ語、フランス語、中国語）と II 群言語（ロシア語、スペイン語、朝鮮語）について社会学部では、諸外国語を2つのグループ（I 群言語、II 群言語）に分け、カリキュラム上の位置づけを区別しています。以下の表を参照しながら、説明します。

※下記言語のうち、学生ご自身の母語（第一言語）に該当するものは履修できません。必ず母語以外の言語を選択してください。

説明番号	群	I 群言語	II 群言語
(1)	含まれる言語	ドイツ語、フランス語、中国語	ロシア語、スペイン語、朝鮮語
(2)	必修単位数	初級 A・B（各 2 単位 × 2 = 計 4 単位）	
(3)	単位認定試験	あり	なし
(4)	履修可能な選択科目の単位数	ドイツ語・フランス語：最大 38 単位まで 中国語：最大 42 単位まで	最大で 8 単位まで
(5)	1 年次から履修可能な選択科目	あり	なし

(2) 必修単位数

I 群言語も II 群言語も、必修諸外国語としての必修単位数は同じで、1 年次に 4 単位（初級 A・B）を履修します。この点では、言語による区別はありません。

また、I 群言語も II 群言語も必修科目は 1 年次のみで、2 年次以降は選択科目となり、希望者のみ履修するという点でも同じです。

(3) 単位認定試験（I 群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）について

希望者は、「諸外国語初級 A・B」（I 群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）の単位認定試験を受験できます。この単位認定試験の合格者は、必修の「諸外国語初級 A・B」（I 群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）の単位が認定（履修が免除）されます。したがって、他の学生が必修の「諸外国語初級 A・B」を受講している時間帯に他の授業を受けたり、より高度な外国語（選択）科目の履修をすることができ、諸外国語の実力を高めていくことが可能になります。

(4) 履修可能な選択科目の単位数

I 群言語は、外国語（選択）として、ドイツ語、フランス語は最大 38 単位まで、中国語は最大 42 単位まで履修できます。

II 群言語は、最大 8 単位まで履修できます。

（※社会学部のみ）「国際・社会コース」を選択する場合

2 年次から「国際・社会コース」を選択する場合、「Elective English」「ドイツ語プログラム」「フランス語プログラム」「中国語プログラム」のうちいずれか一つを選択し、卒業までに 12 単位修得する必要がありますので、言語の選択、履修には十分注意して下さい。

(5) 1 年次から履修可能な選択科目

I 群言語には必修科目とは別に、外国語（選択）として 1 年次から履修出来る科目があります。

(6) 再履修の形態

I 群言語は、春学期、秋学期ともに、初級 A・B が開講されているため、仮に単位を修得できなかった場合も、次の学期に再履修が可能となっています。II 群言語は、春学期にのみ初級 A が、秋学期にのみ初級 B が開講されているため、単位を修得できなかった場合、翌年の同じ学期まで再履修することができません。

また、社会学部のカリキュラムは、積み上げ型の履修体系になっているため、初級 A の単位が修得できるまで、初級 B の履修は認められません。この点にも注意が必要です。

(7) スタディ・アプロード (SA) について

社会学部では、中国語圏について SA プログラムを開設しています。中国への SA は 1 セメスターとなりますが、16 単位が卒業所要単位として認定されます。

3. 外国語の学習について

社会学部のカリキュラムでは、選択必修外国語の他に、さらに別の言語を諸外国語初級（選択）として履修することが可能です。各人の意欲と選択によって、1、2、3、4年次、どの学年でも学ぶことができ、履修の上限内であれば卒業所要単位として認められます。例えば、1年次にI群言語のいずれかを履修した人が、2年次以降に他のI群言語、またII群言語のいずれかを履修することも可能です。

【国際文化学部】“外国語選択”と“留学先選択”を選択する

国際文化学部では、必修外国語として「英語」と英語以外の「諸外国語」一カ国語の計二カ国語を履修します。諸外国語には、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語の科目が開設されています。

また、国際文化学部では2年次に全員スタディ・アブロード（SA）・プログラムによる海外留学が義務付けられており、留学希望先（以下「SA先」）は履修した外国語を使用する国から選択することになります。

次の説明にしたがって“外国語選択”および“留学先選択”の第一志望を選択してください。

また、SA先を紹介するSAガイダンス資料を2026年2月17日（火）（※予定）に公開しますので必ず確認してください。

1. “外国語選択”および“留学先選択”の決定手順について

合格した入試方式により案内が異なります。下表にそって該当箇所をご参照ください。

◆入試方式◆	(参照先)
◆「SA自己推薦入試」	➡ 以下（1） へ
◆「指定校推薦（高校への依頼状でSA先を指定した高校）」	
◆「分野優秀者入試」	➡ 以下（2） へ
◆「指定校推薦（高校への依頼状でSA先を指定していない高校）」	
◆「スポーツ推薦入試（SSIを希望しない方）」	
◆「付属校推薦入試」	➡ 以下（3） へ
◆「一般選抜」（T日程・英語外部試験利用入試・A方式・B方式）	

(1) 「SA自己推薦入試」「指定校推薦（高校への依頼状でSA先を指定した高校）」の合格者

- ① 以下の「2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について」を参照し、所定の入学手続き期間に希望の外国語・留学先を登録してください。
※履修する外国語もSA先も出願時の選択のとおり決定しています。出願時に希望したSA先言語およびSA先を選択してください。
- ② SA先を紹介するSAガイダンス資料を【2026年2月17日（火）※予定】に公開します（以下の「3. SAガイダンスページ」を参照）。ご入学までにSAガイダンス資料を必ずご確認ください。

(2) 「分野優秀者入試」「指定校推薦（依頼状でSA先を指定しない高校）」「スポーツ推薦入試（SSIを希望しない方）」「付属校推薦入試」の合格者

- ① 以下の「2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について」を参照し、所定の入学手続き期間に希望の外国語・留学先を登録してください。
- ② 以下の「3. SAガイダンスページ」より、SA先を紹介するSAガイダンス資料を【2026年2月17日（火）※予定】に公開しますので必ずご確認ください。SAガイダンス資料を閲覧した上で、①で登録した“外国語選択”および“留学先選択”の変更を希望する場合、【2026年2月24日（火）17:00】まで変更申請を受け付けます。「3. SAガイダンスページ」内の変更希望フォームから申請してください。複数回の変更申請があった場合は、最新の申請を受理します。期限後は一切受付ができませんので、変更希望者は必ず【2026年2月24日（火）17:00】までに申請してください。

※①で登録した“外国語選択”および“留学先選択”から変更を希望しない場合でも、ご入学までにSAガイダンス資料を必ずご確認ください。

(3) 「一般選抜（T日程・英語外部試験利用入試・A方式・B方式）」の合格者

- ① 以下の「3. SAガイダンスページ」より、SA先を紹介するSAガイダンス資料を閲覧してください。
- ② 以下の「2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について」を参照し、所定の入学手続き期間に希望の外国語・留学先を登録してください。
※所定の入学手続き期間後に、登録内容を変更することはできません。

2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について-

入学手続き時の選択内容によって、外国語選択およびSA先（英語圏／諸語圏）が決定します。くわえて、諸語圏を選択した場合は、諸外国語の選択内容によって、渡航先国が決定します。これらの希望に応じてクラスを編成しますので、入学手続き後の変更は、認められません（上記1（2）②を除く）。
下表を参考に、希望の“外国語選択”および“留学先選択”を入力してください。

＜入学手続きの選択内容とSA先 諸外国語でドイツ語を選択した場合の例＞

選択パターン	入学手続き時の選択			SA先
	外国語選択▼	留学先選択▼		
①	英語・ドイツ語	英語圏	⇔	英語圏（入学後に具体的なSA先を決定）
②	英語・ドイツ語	諸語圏	⇔	ドイツ（決定）

※諸外国語は、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語からいずれか1つを選択してください。

※留学先の諸語圏とは：ドイツ、フランス、ロシア、中国、スペイン、韓国を指します。

※表の見方は次の通りです。

①（SA先に英語圏を希望する者）

“外国語選択”で「英語・ドイツ語」を選択し、“留学先選択”で「英語圏」を選択した場合、留学先は、「英語圏」に決定します。英語圏の留学先は複数あり、入学後に希望調査を行い決定します。希望調査の結果、SA先大学の定員を超過した場合、希望の留学先に決定しない可能性もあります。

②（SA先に諸語圏を希望する者）

“外国語選択”で「英語・ドイツ語」を選択し、“留学先選択”で「諸語圏」を選択した場合、留学先はドイツに決定します。つまり「諸語圏」を選択した場合のSA先は、“外国語選択”で選択した「諸外国語」を使用する国となります。

3. SAガイダンスページ

以下URLのページに、SA先毎の情報をまとめたSAガイダンス資料を掲載します。必ずガイダンス内容を参照の上、希望の外国語・留学先を選択してください。

【SAガイダンス資料公開日】2026年2月17日（火）※予定

<https://www.hosei.ac.jp/kokusai/jukensei/goukakyu/2026/>

（※ Internet Explorer 以外のブラウザで閲覧してください。）

4. その他

- ・ 諸々の事情により、急遽SA派遣先大学が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ スタディ・アブロード（SA）・プログラムには、当該年度学費の他に別途費用がかかります。SA費用については、SA先大学に支払うプログラム費用の上昇、為替レート、航空運賃・保険料などの影響により変動します。
- ・ SAガイド（国際文化学部HPに掲載）のSA費用一覧に掲載された宿泊形態（ホームステイ・寮）は、SA先の都合等により変更が生じる場合があります。
- ・ SA中は、原則一時帰国はできません。渡航期間によって、成人式（二十歳のつどい等）に出席できない場合もありますのであらかじめご了承ください。
* 寮やホームステイに係る留意事項等を出願前に必ず右のQRコードからご確認ください。
- ・ 日本国籍以外の方へ
国籍により査証（ビザ）を発給しない国があります。その場合には、スタディ・アブロード（SA）・プ



プログラムに参加できません。日本国籍以外の方は、各自入学手続き前に、希望する SA 先の在日大使館へ査証申請の可否を確認してください。

- ・その他 SA プログラムの詳細については、入学手続 WEB サイトの「スタディ・アブロード (SA) プログラム参加費用について」および SA ガイド (国際文化学部 HP に掲載) をご参照ください。
- ・SA は、外務省発出の危険レベル・感染症危険レベル等を踏まえ毎年実施可否を判断しています。感染症やその他国際情勢の状況により、中止となる場合があります。

【現代福祉学部】英語を選択

入学後は全員が英語を履修することになりますので、「外国語選択」は英語を選択してください。なお、必修である英語以外に中国語、ドイツ語、フランス語、日本手話言語の選択科目が履修できます。

【情報科学部】英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」は英語を選択してください。

【デザイン工学部】英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」は英語を選択してください。

【GIS (グローバル教養学部)】英語を選択

入学後は全員が英語を履修することになりますので、「外国語選択」は英語を選択してください。

【スポーツ健康学部】英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」は英語を選択してください。

(2) 【留学生用】外国語科目の選び方について

この項目は以下の入試の合格者の方のみが参照してください。

- ・外国人留学生入試（前期日程・後期日程）
- ・指定校推薦（日本語学校・海外高等学校・海外高等学校（済州特別自治道教育庁））

入学後の履修外国語は、「学籍関連情報登録」の「外国語志望順位欄」に基づいて決定します。外国語科目の選び方については、次の説明を参照してください。

【法学部（法律学科・政治学科）】 【文学部】 【経営学部】 【人間環境学部】 【キャリアデザイン学部】

■外国語選択欄

入学後、英語と日本語を履修することになります。「外国語選択」欄は「英語・日本語」を選択してください。

英語を母語として使用している国・地域からの留学生は、次のパターンで外国語を履修しますので、入学する学部申し出てください
履修パターン：「英語以外の諸外国語＋日本語」

【法学部（国際政治学科）】 「英語・日本語」を選択

入学後、日本語と英語を履修することになりますので、「外国語選択」には「英語・日本語」を選択してください。

【デザイン工学部】 英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」欄に英語を選択してください。

【情報科学部】 英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」欄に英語を選択してください。

【スポーツ健康学部】 「英語・日本語」を選択

入学後、日本語と英語を履修することになりますので、「外国語選択」には「英語・日本語」を選択してください。

【経済学部】 「英語・日本語」を選択

入学後は、留学生全員が第一外国語として「英語」を、第二外国語として日本語を履修することになりますので、「外国語選択」には「英語・日本語」を選択してください。

【社会学部】 「英語・日本語」を選択

留学生は必修語学科目として、日本語を6単位、選択必修語学科目として、英語・諸外国語（母語を除く）の中から2単位の合計8単位を履修しなければなりません。諸外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語の6言語です。

英語・諸外国語の選択については留学生ガイダンスで申請手続きをおこないます。詳細については、4月の留学生ガイダンスで説明します。必ず出席してください。

「外国語選択」欄では「英語・日本語」を選択してください。

【現代福祉学部】 英語・日本語を選択

入学後、英語と日本語を履修することになりますので、「外国語選択」欄は「英語・日本語」を選択してください。なお、必修である英語と日本語以外に中国語、ドイツ語、フランス語、日本手話言語の選択科目が履修できます。

【理工学部】志望の選択について

学科によって選択する項目が異なります。

◎機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科、経営システム工学科：英語を選択

教養科目の英語科目が必修です。「外国語選択」欄は英語を選択してください。

なお、教養科目群には英語以外にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語が設置されており、希望する外国語を選択外国語として学ぶことが可能です（必修ではありません）。

◎創生科学科：1カ国語のみ選択

教養科目の英語科目が必修であることに加え、他にもう1カ国語を必修外国語として選択する必要があります。希望する諸外国語をドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語の中から一つ選択し、「外国語選択」欄から選択してください。ただし、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語のうち、学生ご自身の第一言語（母語）にあたるものは選択できません。

【生命科学部】英語を選択

教養科目の英語科目が必修です。「外国語選択」欄は英語を選択してください。

なお、教養科目群には英語以外にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語が設置されており、希望する外国語を自由に選択して学ぶことが可能です（必修ではありません）。

【国際文化学部】「英語・日本語」を選択

「外国語選択」において、「英語・日本語」を選択してください。

国際文化学部では、必修外国語として日本語と英語（母語が英語の場合は諸外国語1言語を入学後に選択）を履修することになります。外国語の選択・履修方法については、別途説明します（母語が英語の場合は入学後に所属学部まで申し出てください）。

母語が英語		母語が英語以外の言語	
日本語	8単位	日本語	8単位
諸外国語※	4単位	英語	4単位
計	12単位	計	12単位

※諸外国語

ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語から入学後に1言語を選択

日本の歴史、社会、文化を理解できるよう、2年生夏季期間に約10日間のスタディ・ジャパン（S J）プログラムに参加します。研修地は長野県飯田市、下伊那地区です（予定）。費用は10万円程度です。スタディ・アブロード（S A）プログラムへの参加はできません。

S J 奨学金

名称	給付金額	採用予定数	採用学年	応募・採用条件
国際文化学部 S J 奨学金	10万円を上限 に実費支給	全員	当該年度S J 参加者	スタディ・ジャパン（S J）プログラム参加決定者全員のうち、以下の入試による入学者が対象 ・外国人留学生入試（前期日程） ・指定校推薦（日本語学校）入試 ・指定校推薦（海外高等学校）入試

(3) 【SSI 履修者】外国語科目の選び方について

この項目は、スポーツ推薦入学試験による合格者で、SSI（スポーツ・サイエンス・インスティテュート）の履修を希望する方のみが参照してください。

-SSI（スポーツ・サイエンス・インスティテュート）の履修について-

入学後の SSI 履修は「学籍関連情報登録」の SSI 履修希望欄に基づいて決定します。SSI の履修を希望する方は「SSI 希望あり」を、希望しない方は「SSI 希望なし」を選択してください。

なお、今回選択した履修方法で確定となり、入学後はいかなる理由があっても一切変更できません。

SSI の概要及び参加学部・学科については、『2025年度スポーツ推薦入学試験要項』を参照してください。

◆「SSI 履修希望あり」を選択した方は、この「SSI 履修者外国語科目の選び方」からの指示に従ってください。

◇「SSI 履修希望なし」を選択した方は2ページからの「(1)【一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜等での入学者用】外国語科目の選び方について」の指示に従ってください。

[SSI に関する問い合わせ先]

法政大学 教務部市ヶ谷学部事務課

電話 03-3264-5390（月～金 9:00～17:00、但し 11:30～12:30 は除く）

ホームページアドレス <http://www.hosei.ac.jp/ssi/index.html>

■ SSI 履修者外国語科目の選び方

入学後の履修外国語は、「外国語選択」に基づいて決定します。外国語科目の選び方については、次の説明を参照してください。

各外国語とも受講人数に制限がありますので、特定の外国語に履修希望が集中した場合、必ずしも第一志望に決まらないことがあります。このため「外国語選択」には必ず、各学部の指定する志望順位（第二志望や第三志望）も選択してください。法学部・文学部・経営学部・人間環境学部については、下記を参照してください。

なお、決定した諸外国語に基づき所属クラスが確定しますので、入学手続後の諸外国語志望の変更は一切できません。

※諸外国語の説明については入学手続 WEB サイトの「諸外国語について」を参照してください。

〈SSI 履修者〉【法学部】【文学部】【経営学部】【人間環境学部】 第一志望のみ選択

入学後は全員、以下に記載されている「外国語」から一ヶ国語を選び履修します。

外国語	英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語
-----	----------------------------------

「外国語選択」は第一志望のみ選択してください。

※文学部哲学科の学生は、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかを履修することが推奨されます。

※教員を目指す方は英語が必修科目となります。そのため、英語以外の諸外国語を選択すると、外国語の必修単位の他に英語を履修する必要がありますのでご注意ください。

〈SSI 履修者〉【経済学部経済学科・現代ビジネス学科】

入学後は、全員「英語」を履修することになります。「外国語選択」は英語を選択してください。

〈SSI 履修者〉【社会学部】 第三志望まで選択

入学後は、全員が必修である「英語」と、「諸外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語）」の中から1つを必修諸外国語として選択し、あわせて二言語を必修外国語として履修します。必修の諸外国語は、入学時の登録によって決定されます。なお、2年次以降、卒業までに1回に限り、必修登録言語の変更届を出すことにより、変更が可能です。また、必修として選択した外国語のほ

かに、選択科目として、必修外国語以外の外国語の履修も可能です。

「外国語選択」には、必ず、第三志望まで選択してください。志望状況により、第一志望から第三志望で選択したいいずれかの言語に決定します。

英語も必修諸外国語も、それぞれ4単位ずつ、合計8単位を修得することが卒業するための要件になります。

社会学部では次ページ、「2. 「諸外国語」のカリキュラム上の区別について」で述べるようにカリキュラム上の位置づけが言語によって異なります。特に、諸外国語の選択にあたっては、現在の自分の興味・関心だけでなく、4年間の学習体系のこともよく考えて慎重に選んでください。以下、履修における特徴について説明します。

1. 英語の履修について

(1) 必修「英語」の履修について

社会学部では、1年次にBasic English 1（春学期1単位、秋学期1単位）、2年次にBasic English 2（春学期1単位、秋学期1単位）の合計4単位を必修として履修しなければなりません。なお、受講するクラスは、入学前および1年次秋学期に大学で実施する英語外部試験のスコアにより決定します。

(2) スタディ・アブロード (SA) について

社会学部では、北米（アメリカ、カナダ）の大学と協定を結んで、SAプログラムを実施しています。留学先で取得した単位は、1セメスターの場合で合計16単位、2セメスターの場合30単位を上限に卒業所要単位として認定されます。

2. 「諸外国語」のカリキュラム上の区別について

(1) I群言語（ドイツ語、フランス語、中国語）とII群言語（ロシア語、スペイン語、朝鮮語）について
社会学部では、諸外国語を2つのグループ（I群言語、II群言語）に分け、カリキュラム上の位置づけを区別しています。以下の表を参照しながら、説明します。

説明番号	群	I群言語	II群言語
(1)	含まれる言語	ドイツ語、フランス語、中国語	ロシア語、スペイン語、朝鮮語
(2)	必修単位数	初級A・B（各2単位×2＝計4単位）	
(3)	単位認定試験	あり	なし
(4)	履修可能な選択科目の単位数	ドイツ語・フランス語：最大38単位まで 中国語：最大42単位まで	最大で8単位まで
(5)	1年次から履修可能な選択科目	あり	なし

(2) 必修単位数

I群言語もII群言語も、必修諸外国語としての必修単位数は同じで、1年次に4単位（初級A・B）を履修します。この点では、言語による区別はありません。

また、I群言語もII群言語も必修科目は1年次のみで、2年次以降は選択科目となり、希望者のみ履修するという点でも同じです。

(3) 単位認定試験（I群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）について

希望者は、「諸外国語初級A・B」（I群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）の単位認定試験を受験できます。この単位認定試験の合格者は、必修の「諸外国語初級A・B」（I群言語＝ドイツ語・フランス語・中国語）の単位が認定（履修が免除）されます。したがって、他の学生が必修の「諸外国語初級A・B」を受講している時間帯に他の授業を受けたり、より高度な外国語（選択）の科目の履修をすることができ、諸外国語の実力を高めていくことが可能になります。

(4) 履修可能な選択科目の単位数

I群言語は、外国語（選択）として、ドイツ語、フランス語は最大38単位まで、中国語は最大42単位まで履修できます。

II群言語は、最大8単位まで履修できます。

(※社会学科のみ)「国際・社会コース」を選択する場合

2年次から「国際・社会コース」を選択する場合、「Elective English」「ドイツ語プログラム」「フランス語プログラム」「中国語プログラム」のうちいずれか一つを選択し、卒業までに12単位修得する必要がありますので、言語の選択、履修には十分注意して下さい。

(5) 1年次から履修可能な選択科目

I群言語には必修科目とは別に、外国語(選択)として1年次から履修できる科目があります。

(6) 再履修の形態

I群言語は、春学期、秋学期ともに、初級A・Bが開講されているため、仮に単位を修得できなかった場合も、次の学期に再履修が可能となっています。II群言語は、春学期にのみ初級Aが、秋学期にのみ初級Bが開講されているため、単位を修得できなかった場合、翌年の同じ学期まで再履修することができません。

また、社会学部のカリキュラムは、積み上げ型の履修体系になっているため、初級Aの単位が修得できるまで、初級Bの履修は認められません。この点にも注意が必要です。

(7) スタディ・アブロード(SA)について

社会学部では、中国語圏についてSAプログラムを開設しています。中国へのSAは1セメスターとなりますが、16単位が卒業所要単位として認定されます。

3. 外国語の学習について

社会学部のカリキュラムでは、選択必修外国語の他に、さらに別の言語を諸外国語初級(選択)として履修することが可能です。各人の意欲と選択によって、1、2、3、4年次、どの学年でも学ぶことができ、履修の上限内であれば卒業所要単位として認められます。例えば、1年次にI群言語のいずれかを履修した人が、2年次以降に他のI群言語、またII群言語のいずれかを履修することも可能です。

〈SSI履修者〉【国際文化学部】“外国語選択”も“留学先選択”も第一志望のみ選択

国際文化学部では2年次に全員がスタディ・アブロード(SA)・プログラムに参加することが義務付けられていますが、SSI履修生は参加/不参加を選択することができます。次の説明にしたがって“外国語選択”および“留学先選択”を選択してください。

1. “外国語選択”および“留学先選択”の決定手順について

- (1) 以下の「2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について」を参照し、所定の入学手続き期間に希望の外国語・留学先を登録してください。
- (2) 以下の「3. SAガイダンスページ」より、【2026年2月17日(火)※予定】にSA先を紹介するSAガイダンス資料を公開します。SA参加希望者は、SAガイダンス資料を閲覧した上で、(1)で登録した“外国語選択”および“留学先選択”から変更を希望する場合は、【2026年2月24日(火)17:00】までに「3. SAガイダンスページ」内の変更希望フォームから申請してください。複数回申請した場合は、最新の申請を受理します。期限後は一切受付ができませんので、変更希望者は必ず【2026年2月24日(火)17:00】までに申請してください。
- (3) SA参加希望者は、(1)で登録した“外国語選択”および“留学先選択”から変更を希望しない場合でも、ご入学までにSAガイダンス資料を必ずご確認ください。

2. “外国語選択”および“留学先選択”の選択方法について

SSI履修生は下表の【パターン1~3】いずれかを選択し、外国語科目を履修します。また、選択パターンによりSA参加の可否が異なります。SA参加有無含め今回選択した履修方法で確定となり、入学後はいかなる理由があっても一切変更できません。

SA期間中の約半年間は、留学に専念いただくこととなります。SA先大学のクラブ等に参加できる場合がありますが、現地では学修が中心となるため、必ずしも競技の練習に専念できるとは限りません。入学後に選択した内容の変更は一切できません。このことを念頭に置いた上で、慎重にSA参加有無を検討してください。

- ・ SAに参加する方は【パターン1】または【パターン2】を選択してください。
- ・ SAに参加しない方は【パターン1】または【パターン3】を選択してください。

パターン1	英語のみ 8 単位	<p>① “外国語選択” では「英語」を選択してください。</p> <p>② “留学先選択” では「希望なし」もしくは「英語圏」のいずれかを選択してください（※）。</p> <p><u>【パターン1】の場合、SA 参加/不参加を選択することができます。SA に参加希望の方は、“留学先選択”で「英語圏」を選択してください。</u></p> <p>ただし、選択できる SA 留学先は英語圏に限り、渡航先は入学後に希望調査を行い決定します。希望調査の結果、SA 先大学の定員を超過した場合、希望の留学先に決定しない可能性もあります。</p> <p>（※）「諸語圏（「ドイツ」「フランス」「ロシア」「中国」「スペイン」「韓国）」を選択することはできません。</p> <p><u>①・②について、入学後の変更は一切受け付けません。</u></p>
パターン2	諸外国語のみ 8 単位	<p>① “外国語選択” では下表の諸外国語の中から 1 言語を選択してください。</p> <p>② “留学先選択” では「諸語圏」を選択してください（※）。</p> <p><u>①で選択した外国語に対応する渡航先への SA 参加が義務付けられます。</u></p> <p>（※）「希望なし」および「英語圏」を選択することはできません。</p> <p><u>①・②について、入学後の変更は一切受け付けません。</u></p>
パターン3	英語 4 単位 諸外国語 4 単位	<p>① “外国語選択” では「英語・諸外国語（※）」を選択してください。</p> <p>（※）諸外国語は下表の中から 1 言語を選択してください。（たとえば英語とドイツ語を希望する場合は「英語・ドイツ語」を選択することになります）。</p> <p>② “留学先選択” では「希望なし」を選択してください。</p> <p><u>【パターン3】の場合、SA に参加することはできません。</u></p> <p><u>①・②について、入学後の変更は一切受け付けません。</u></p>

諸外国語	ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮語
------	-------------------------------

<補足事項>

- ・英語の教員を目指す方は、【パターン1】または【パターン3】を選択してください。
- ・中国語の教員を目指す方は、【パターン2】または【パターン3】で中国語を選択してください。

3. SA ガイダンスページ

以下URLのページに、SA 先毎の情報をまとめた SA ガイダンス資料を掲載します。SA 参加希望者は、必ずガイダンスを参照の上、希望の外国語・留学先を選択してください。

【SA ガイダンス資料公開日】2026 年 2 月 17 日（火）※予定

<https://www.hosei.ac.jp/kokusai/jukensei/goukakusya/2026/>

（※ Internet Explorer 以外のブラウザで閲覧してください。）

4. その他

- ・諸々の事情により、急遽 SA 派遣先大学が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・スタディ・アブロード（SA）・プログラムには、当該年度学費の他に別途費用がかかります。SA 費用については、SA 先大学に支払うプログラム費用の上昇、為替レート、航空運賃・保険料などの影響により変動します。
- ・SA ガイド（国際文化学部 HP に掲載）の SA 費用一覧に掲載された宿泊形態（ホームステイ・寮）は、SA 先の都合等により変更が生じる場合があります。
- ・SA 中は、原則一時帰国はできません。渡航期間によって、成人式（二十歳のつどい等）に出席できない場合もありますのであらかじめご了承ください。
*寮やホームステイに係る留意事項等を出願前に必ず右の QR コードからご確認ください。
- ・日本国籍以外の方へ
国籍により査証（ビザ）を発給しない国があります。その場合には、スタディ・アブロード（SA）・プログラムに参加できません。日本国籍以外の方は、各自入学手続き前に、希望する SA 先の在日大使館へ査証申請の可否を確認してください。



- ・その他 SA プログラムの詳細については、入学手続 WEB サイトの「スタディ・アブロード (SA) プログラム参加費用について」および SA ガイド (大学ホームページ) をご参照ください。
- ・SA は、外務省発出の危険レベル・感染症危険レベル等を踏まえ毎年実施可否を判断しています。感染症やその他国際情勢の状況により、中止となる場合があります。

〈SSI 履修者〉【現代福祉学部】

入学後は全員が英語を履修することになりますので、「外国語選択」には英語を選択してください。なお、必修である英語以外に中国語、ドイツ語、フランス語、日本手話言語の選択科目が履修できます。

〈SSI 履修者〉【キャリアデザイン学部】

入学後は、必修外国語として「英語」(必修4単位)を履修することになります。「外国語選択」では英語を選択してください。

〈SSI 履修者〉【デザイン工学部システムデザイン学科】英語を選択

入学後は全員が英語のみを履修することになりますので、「外国語選択」には英語を選択してください。